



平成19年10月26日

富岡市長 岩井 賢太郎 様

富岡市総合計画審議会

会長 植村 昭男

第1次富岡市総合計画案について（答申）

平成19年7月18日富企第45号で諮問のありました、第1次富岡市総合計画案について、本審議会において、市民の視点から、あるいは専門的見地から、将来にわたって豊かな市民生活を実現できる内容になっているか、市民にわかりやすい計画になっているかなどの観点から慎重に審議をした結果、本総合計画案については、妥当と認めます。

ただし、本総合計画案によるまちづくりの実施にあたっては、市民と行政の協働によるまちづくりを基本として、将来像「人と自然と歴史が織りなす豊かなまち とみおか」が実現できるよう、次の事項について配慮されることを要望します。

- 1 次世代へ「活力あふれるまち」として継承されるまちづくりを進めることが大切であり、元気や活力を一時的なものにしないために、施策を的確に実施し、構想を実現していただきたい。
- 1 少子化、高齢社会がますます進むと予想されるので、少子・高齢化対策を総合計画の最優先課題として、取り組んでいただきたい。
- 1 工業や農業などの産業を盛んにし、安定したまちづくりを望む市民の声が多いことを踏まえて、総合計画を実施していただきたい。
- 1 総合計画を実施するにあたり、市の財政状況が悪化することがないように、的確かつ効果的な事業の選択をしていただきたい。
- 1 施策を実施するにあたり、市民一人ひとりが意識できるよう、積極的な情報公開に努めていただきたい。
- 1 審議の過程で、各委員から出された個別意見については、別紙のとおりです。実施計画の策定や施策を実施していく中で、十分に活用されるよう要望します。